



# 館長だより

山形県産業科学館

令和 6 年 5 月 9 日 (木)

発行 館長 加藤 智一

## 新シリーズ「企業名に歴史あり」

### No. 3 東レじゃないよ東リだよ

#### 東リのりはリノリウムのリ

リノリウムは、亜麻仁油などの乾性油を加熱酸化させ、コルク粉や顔料などを混入し、麻布に圧着して作られる床仕上材です。石油由来の材料を使用していないため、環境に配慮したい人や社会への関心が高い人にオススメです。また、廃棄時に有害物質が発生しないため、サステナブルな選択といえます。また、リノリウムは、適切なメンテナンスを行えば、30～40 年も利用できます。傷や凹みにも強く、コストパフォーマンスも良いようです。さらにリノリウムは抗菌作用が高く、滑りにくいため、ハウスダスト対策や感染症対策が必要な介護施設、病院、学校などで多く利用されています。

東リは、兵庫県伊丹市に本社があり、戦前は山口財閥の唯一の生産企業でした。1919 年、元加賀藩士・寺西福吉の企業者活動をバックアップするため、山口財閥の関係者が発起人となり、株式の大部分を山口財閥が引き受け、日本初の国産リノリウム（床材）を製造販売する「東洋リノリウム株式会社」が設立されました。

### No. 4 「東ソー」のソー 「大阪ソーダ」のソーダ

「ソーダ」とあるので、何やらおいしそうな清涼飲料水を作っている会社かなと思っていた方いるのでは。社名にソーダとあるのは、会社のスタートがソーダ工業だったからですね。ソーダ工業とは、電解ソーダ工業とソーダ灰工業の総称で、Na のことを言っているようですね。

例えば塩化ナトリウムの分解により、水酸化ナトリウム（苛性ソーダ）、塩素、水素、炭酸ナトリウム（ソーダ灰）ができます。具体的な化合物について少々ご説明すると、炭酸ナトリウムは化学式  $\text{Na}_2\text{CO}_3$  で表され、俗称として「ソーダ」とも呼ばれます。洗濯用粉石鹼の助剤として使われたり、工業的に重要な基礎化学品として広く用いられています。

次に、水酸化ナトリウム 化学式は  $\text{NaOH}$  です。苛性ソーダとも呼ばれ、強塩基（アルカリ）として広範に用いられています。工業的に非常に重要な基礎化学品の一つです。

さらに、重炭酸ソーダ  $\text{NaHCO}_3$  は、俗称として「重

曹」とも呼ばれます。炭酸水素ナトリウムとも言います。炭酸ナトリウムよりも比重が重く、台所の掃除や料理、入浴料などで使用されます。100均でも売ってます。

### No. 5 「日本フェルト」のフェルトとは

Wikipedia によれば、もともとフェルトは、ヒツジやラクダなどの動物の毛を圧縮してシート状にした繊維品の総称で、この不織布は、ウロコ状のキューティクルで覆われた哺乳類の体毛を石鹼水などのアルカリ性の水溶液で含ませて圧力をかけ、揉んだり巻いたりすることで作られます。フェルトは引っ張りや摩擦に対する抵抗力は比較的弱いですが、断熱、保温、クッション性に優れており、多くの産業用や工業製品、服飾製品、絨毯、カーペットなど幅広い分野で用いられています。

が、日本フェルトは、1917 年の創業以来、製紙用フェルトの専門メーカーです。

## 館長の独り言

磯田道史（いそだ みちふみ）先生

「歴史は繰り返さないが韻を踏む」

NHK インタビューより

先日、朝、何気なく NHK を見ていたら、「英雄たちの選択」でおなじみの歴史学者、磯田先生がインタビューを受けておられる番組を見ました。

先生いわく、「歴史は繰り返さないが韻を踏む」「歴史は安全靴だ」ともおっしゃっていました。つまり、こういう事かと。地震は起きるが、全く同じ状況はあり得ない。震度も場所も天候も季節も違うでしょう。でも、地震は起きるものだと覚悟を決めておけば、災害への備えはできる。過去の歴史から学ぶことはたくさんある。

昨日私はある職員から、過去館内でおきた事故およびその対応についてまとめたものを見せてもらいました。細かく記録がとられていて、関心しましたが、その矢先、館内で気分を悪くされた女児あり。早速職員は、適切に対応したわけですが、こういう場面で、過去の記録、積み重ねが役に立つのですね。

記録の保管と情報の共有はとても大切なことなのだというお話。